

## 航空公園いきものガイドウォーク報告書

日時	2026年5月23日(土) 10:00~11:10	天候	曇り	担当者	佐藤
テーマ	初夏の花／実りの初夏	参加者	18名	担当者	河野
観察内容	<p>班を2つに分けてガイドを行いました。少し肌寒いなかスタートし、まずカワズザクラのサクランボ、クワの実を試食しました。下見で探しておいた花や実のついている低い枝を、手に取って説明しましたが、樹木の花などを近くで見たのは初めてで、良かったとの声がありました。やはり食べられる実の関心が高く、美味しいドングリ、渋いドングリ、ムクノキ、エノキ、イチヨウ、トチノキ等食べられる実や、渋の抜き方(自分でやったことはありませんが)の説明を行いました。</p> <p>〈観察した実〉 ピラカンサ、カワズザクラ、ヤマゲワ、マテバシイ、ミズキ、ヤマボウシ、ムクノキ、エノキ、サワラ、ヤマザクラ、ヒマラヤスギ、ヘビイチゴ、モチノキ、タラヨウ、スダジイ、イロハモミジ、ハナミズキ</p> <p>〈植物〉アカツメクサ、久留米ツツジ、サツキ、コウヤマキ、シャクナゲ、クスノキ、サンゴジュ</p>				



クワ (桑)

サツキ (五月)

「実りの秋」はよく耳にする言葉ですが、秋について熟する果実の多いのが実はこの時期(初夏)になります。

上の写真に紹介したクワのほかにウメ、ビワ、ミツマタ、サクランボ、クサイチゴ、ヘビイチゴ、ウグイスカグラ、ジュンベリー(アメリカザイフリボク)など様々な植物が実を結んでいます。

初夏に開花する花と並んで、普段はあまり気がつかない「実りの初夏」も楽しみましょう。

江戸時代に幅広く愛好された園芸植物のひとつにツツジがあります。

当初、ツツジとサツキはひと括りにされていましたが、1692(元禄 5)年に江戸近郊染井村の植木屋伊藤伊兵衛が著した『錦繡枕』という書物の中でツツジとサツキが明確に分けられました。

サツキは旧暦 5 月(現在の 6 月頃)に咲くのでそう名付けられた訳です。

さて、葉の大きさに注目して下さい。ツツジに比べてはるかに小さく、細長く、樹高も低いのが特徴ですが、これはツツジ(ルーツは山沿い)と異なり発生のルーツが常に増水の危険のある溪流沿いあるためです。

### 今日のコース・雑感

- 8 年度のガイド予定表を参加者に配布しました。バードウォッチングと分かっていたら、双眼鏡を持って来たのにとの声があったためです。
- クスノキのところで花やダニ部屋の質問があり、説明しようにも小さくて見えない人が多く、虫眼鏡の必要性を感じました。

